

# 実的な商取引推進を確認

## ブラジルで WUB会議 4分科会で情報交換

【サンパウロ11日真昼  
明】世界各地で活躍するウ

チナンチュがビジネスに  
ついて協議する第二回WU  
B（世界ウチナンチュ・  
ビジネス・ネットワーク）  
会議が十一日、ブラジル・  
サンパウロ市の南米銀行で  
開かれ、インターネットを  
活用してビジネス情報を交  
換し、実的な商取引を進  
めていくことを確認した。  
WUB会議は昨年のハワ  
イ会議に次いで二度目。沖  
縄県人ブラジル移住九十周  
年記念式典を機に開いた。  
地元ブラジルや沖縄をほじ  
めハワイ、北米、アルゼンチ  
ン、ペルー、ボリビアなど各  
国から約五十人が出席した。  
会議では具体的なビジネ  
ス展開をするため、建設資  
材、健康食品、不動産、ス  
ーパーの四つの分科会に

分かれ、各国からの出席者  
がカタログを中心に取引の  
可能性について情報交換し  
た。ブラジルでは四十歳代  
の二世、三世ら若い世代が  
台頭し、沖縄との商取引に  
意欲的だった。  
各国のWUBの組織自体  
はビジネスの仲介はしない  
が、支部に加入するメンバ  
ーの情報をハワイ本部のコ  
ンピューターに蓄積し、ホ  
ームページを開設して情報  
を提供、それぞれの企業が  
その情報を活用し商取引す  
ることを目指している。  
今回の会議では、こうし  
た方向で今後、WUB活動  
を各国で進めていくことを  
確認すると同時に、会員の  
拡大に努めWUB組織を強  
化し、実的な幅広いビジ  
ネスを展開していくことで  
一致した。  
ロバート・仲宗根WUB  
会長は「WUBは昨年、ハ  
ワイで結成されたばかり  
で、この一年間は各国でW  
UBの組織づくりが行われ  
たが、これからは何ができ  
るか、WUBのネットワーク  
でどんなビジネスが進め  
られるか、今回はそれにつ  
いて話し合いたい」とあい  
さつ。北米代表の当銘由洋  
氏は「世界のウチナンチュ  
の交流はこれまで行政中  
心だったが、文化交流や人  
的交流は行政でもできる  
が、経済交流や技術交流は  
民間レベルでしかできな  
い。それぞれの国の特長を  
生かし、言語の障害を乗り  
越えてビジネスネットワー  
クをつくらう」と述べた。  
また沖縄支部の呉屋守将会  
長（金秀本社社長）は、沖  
縄支部の一年間の活動状況  
を報告した。